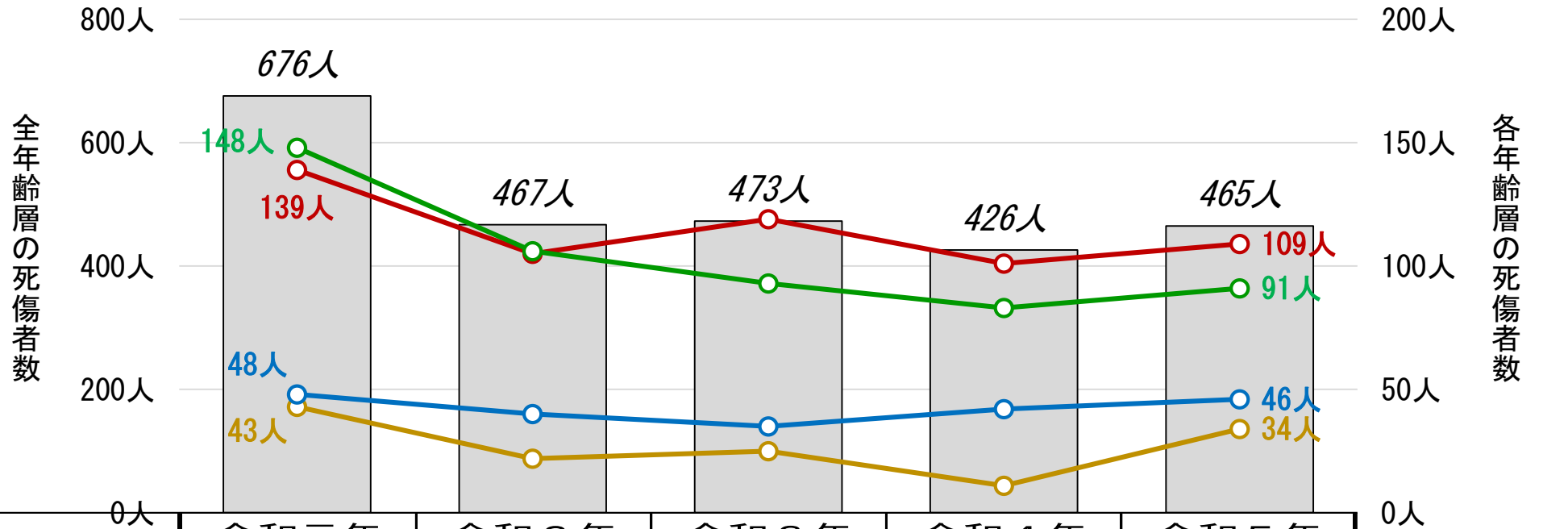


# 自転車乗用中の交通事故被害状況

【 過去5年間（令和元年～令和5年）推移 】

令和5年中の自転車乗用中の死傷者は465人（死者8人、重傷者87人、軽傷者370人）で、前年より39人増加  
特に、小学生の被害は34人（重傷者3人、軽傷者31人）で、前年より23人増加しました。



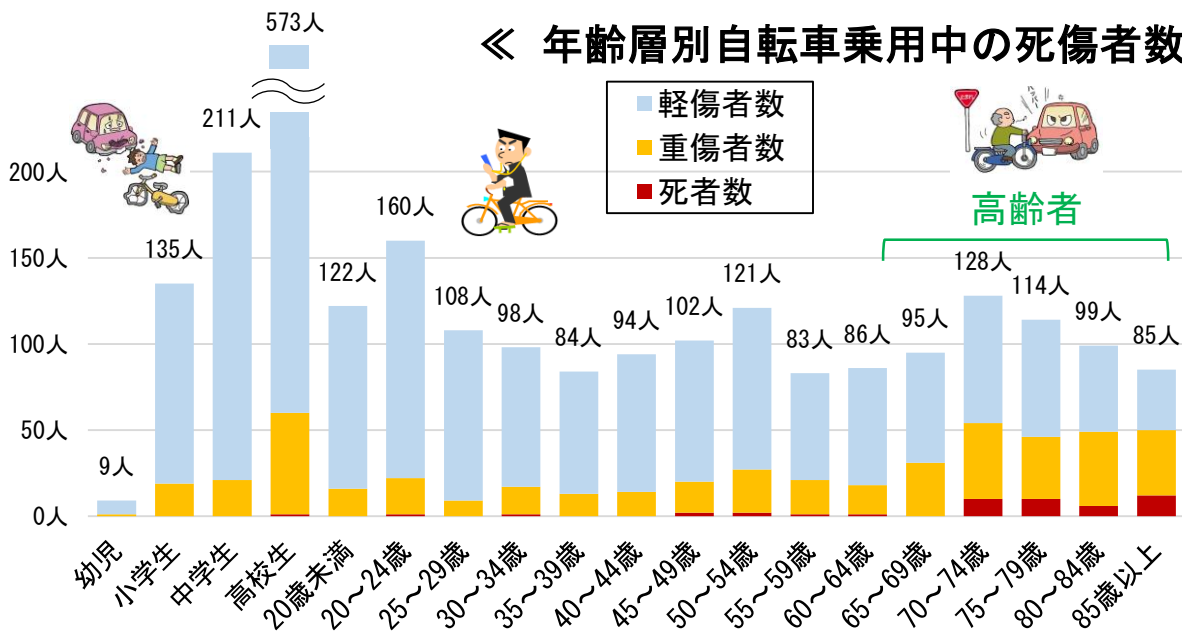
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全年齢層	676人	467人	473人	426人	465人
小学生	43人	22人	25人	11人	34人
中学生	48人	40人	35人	42人	46人
高校生	139人	105人	119人	101人	109人
高齢者	148人	106人	93人	83人	91人
その他	298人	194人	201人	189人	185人

全年齢層  
 小学生  
 中学生  
 高校生  
 高齢者

# 自転車乗用中の交通事故被害状況

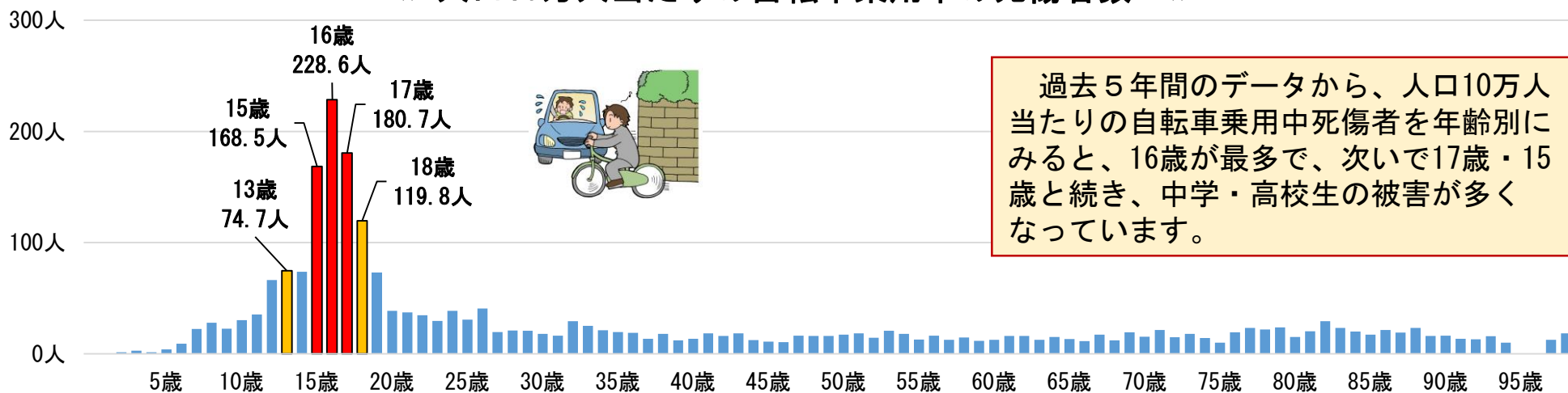
《 年齢層別自転車乗用中の死傷者数 》

【 過去5年間（令和元年～令和5年） 】



過去5年間の自転車乗用中の死者は47人、重傷者は461人、負傷者は1,999人であわせて2,507人の方が死傷しています。このうち高校生の被害が最も多く、全年齢層の22.9%を占めています。また、自転車乗用中の死者（47人）のうち高齢者は80.9%と大半を占めています。

《 人口10万人当たりの自転車乗用中の死傷者数 》



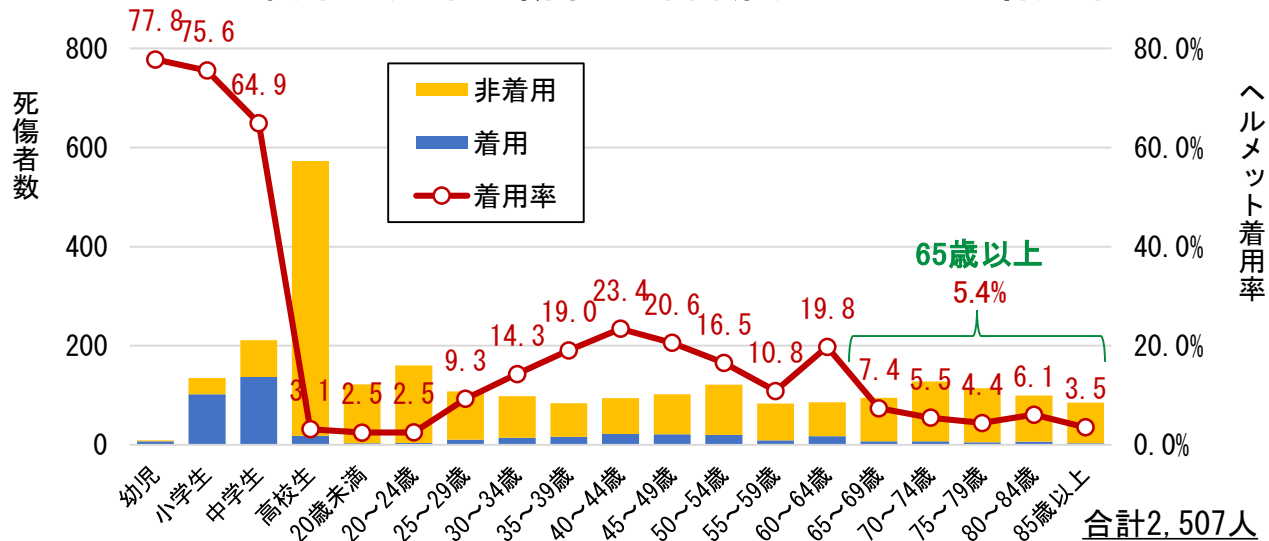
過去5年間のデータから、人口10万人当たりの自転車乗用中死傷者を年齢別にみると、16歳が最多で、次いで17歳・15歳と続き、中学・高校生の被害が多くなっています。

合計2,507人

# 自転車乗用中の交通事故被害状況

【 過去5年間（令和元年～令和5年） 】

## 自転車乗用中死傷者の年齢層別ヘルメット着用率

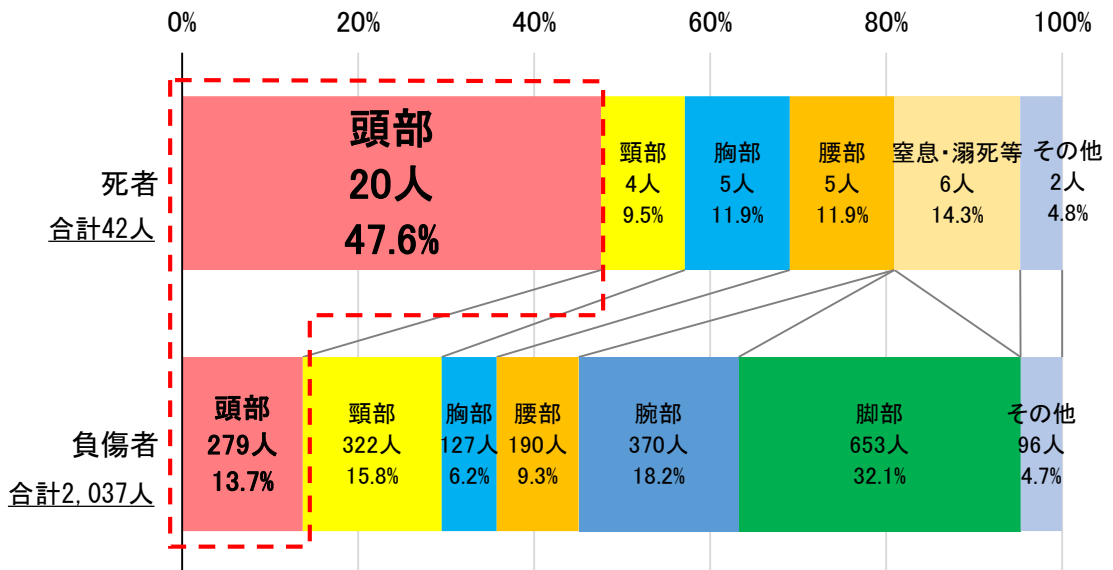


自転車乗用中死傷者全体のヘルメットの着用率は17.1%と低く、中でも高校生3.1%、20歳未満（高校生以下を除く）2.5%、65歳以上の高齢者5.4%と低い割合である。

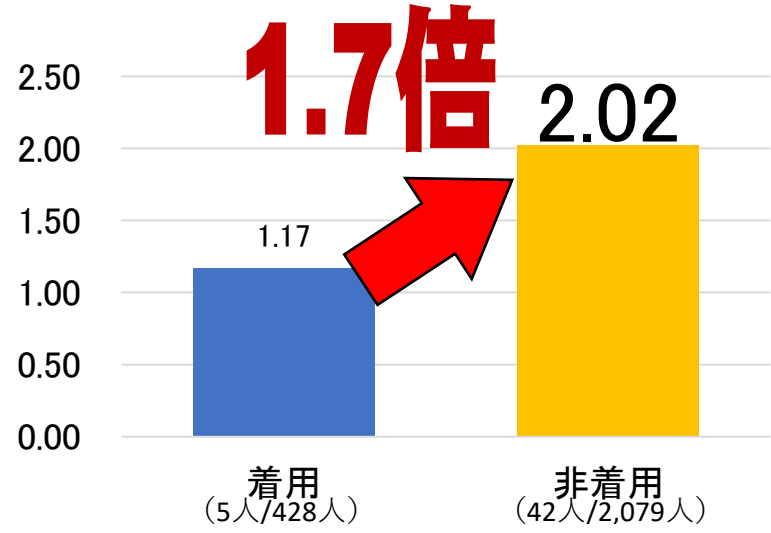
また、自転車乗用中死者のうち、ヘルメット非着用者の損傷部位を見ても、半数近くが頭部に致命傷を負っています。

さらに、ヘルメット非着用者の致死率は、着用者に比べて1.7倍高い状況です。

## ヘルメット非着用の自転車乗用中死傷者の人身損傷主部位



## ヘルメット着用状況別の致死率



注：致死率＝死者÷死傷者×100



# 自転車を安全に利用するために



岐阜県では、自転車の交通事故を防止するため、令和4年3月に「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を制定しました。

## 令和4年4月1日施行

### 交通ルールの遵守・歩行者への配慮

- 自転車の安全で適正な利用に必要な知識と技能の習得に努める
- 車両の運転者としての責任を自覚し、道路交通法その他の法令を遵守する
- 歩行者や他の車両の通行に配慮するように努める

### 自転車の定期的な点検・整備

- 自転車を定期的に点検し、必要な整備を行うよう努める
- 自転車の両側面に反射器材を備える等の交通事故防止対策に努める

## 令和4年10月1日施行

### 大人も子供も乗車用ヘルメットを着用

- 自転車を利用するときは、乗車用ヘルメットを着用するよう努める



### 自転車損害賠償責任保険等への加入

- 自転車損害賠償責任保険等に加入しなければならない



# 自転車安全利用五則

## ルール1

車道が原則、左側を通行  
歩道は例外、歩行者を優先



## ルール2

交差点では信号と一時停止を守って、安全確認

## ルール3

夜間はライトを点灯



## ルール4

飲酒運転は禁止

## ルール5

ヘルメットを着用



ルールを守って、安全！安心！自転車ライフ